



スイカになぜ黒いしま模様があるの

しまは遺伝子で作る

大部分のスイカにはしまがあります。このしまは、遺伝子で作っています。しかし、スイカには、大きさ、形、もよう、味などにちがいのある多くの品種があります。この中には、しまの出ない品種もあるのです。品種としての特ちょうは、遺伝子によって決まっています。しまの出ない品種は、しまを作る遺伝子のはたらきが弱くなったり、なくなってしまったのです。

しま模様のところを切れば種がたくさん見える

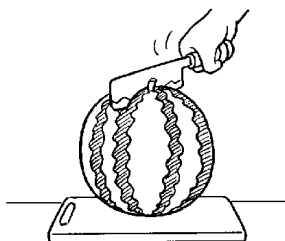
しま模様のないところを切ると種は少しです。しま模様は種のできるところにつながっているのです。

原産地アフリカでは、いろいろなスイカが見られる

スイカはウリ科の植物で、原産地はアフリカです。ここでは、さまざまなスイカが見られます。皮の色は濃い緑、緑、黄色などがあり、しまのあるものとないものがあります。中身は赤、黄色、白のものなどがあります。

スイカの伝来

スイカが日本に伝わってきたのは、安土桃山時代です。中身が真っ赤で血の色を思わせるため、気味悪がられたそうです。（監修・中山 周平）



しま模様のところで
切ると種が多い

